

「ひなんの大切さを学んで」

広島県 安芸太田町立上殿小学校 4年 栗栖 姫久くりす きく

今年7月の大雨の時、私は、土居のおばあちゃんの家に行きました。雨がたくさんふってきて、水路があふれてきました。そして、道路が川ようになってしまいました。玄関から水が入らないように土のうを置くことにしました。すると、近くに住んでいるおじさんが、

「ひなんの方がいい。」

と言いに来てくれました。それで、近くの親せきの家に行くことにしました。親せきの家に行くと、今度は無線でひなんかんこくの知らせがありました。だから、役場の東館におばあちゃんと妹とひなんすることにしました。妹と作ったおむすびと、お茶、ふとんを持って行きました。今までの人生で初めてのことであったので、とてもこわかったです。母さんも仕事場からすぐに来てくれて、顔を合わせることができました。それに、知っている人もたくさんいたので、すぐに安心しました。役場には一晩とまりました。人がたくさんいるし、どうなるんだろうとこわくて、なかなかねむれません。いつもはぜんぜん起きない妹ですが、次の日の朝は、5時に起きていました。私も5時半に目が覚めました。私たちの住んでいる安芸太田町では、それほど大きなひがいも出なくて、ほっとしました。

今回は、おばあちゃんの家に行った時にひなんをしましたが、自分の家にいる時はどこにひなんすればいいんだろうと思いました。そうしたら、学校で防災教室があり、ハザードマップ作りをすることになりました。ハザードマップ作りでは、グループごとに話し合いをしました。どこがあぶないか、どこにひなんすればよいかなどを話し合いました。

「ここはあぶないんじゃない。」

「ここにひなんすればいいんじゃない。」

などと、みんなでアドバイスをし合いながらマップ作りをしました。また、こうしの先生方が、

「ここはあぶないから、ひなんする時はこっちの道を通ってにげたら、安全ににげられるよ。」

「ここは気をつけたほうがいいよ。」

などどくわしく教えて下さったり、アドバイスを下さったりしてくれました。その結果私は、一番近くにある寺に逃げると、きけんな場所が多いため、東長田集会所にひなんすることにしました。でも、時間があれば、上殿小学校や戸河内の役場に家族全員でひなんすることにしました。

次の日、登校の時にみんなで、あぶない所などをかくにんしながら登校しました。すると、田んぼの石がきにひびが入っている所や、崩れそうなところなどがありました。

「これ、ぜったいに落ちてくるよね。」

「ここにおったら、あぶないよね。」

などと話しながら、その場所を見ながらゆっくり通りました。

今度、お父さんとお母さんとひなんするルートを歩いて、どんな所を歩いてひなんするかなどをたしかめたいです。もし、災害が起きたら、このマップを参考にして、安全にひなんしたいです。家の人にも教えてもらったことを伝えて、いざという時にそなえたいです。